

ミ ニ シ タ ー

あぜみち通信

* * * * *

平成29年9月1日

第201号

編集・発行：(一社) 愛知県農業会議

◎ 地域協議会を開催しました

本年7月に集中した農業委員の任期満了を契機に、一般社団法人愛知県農業会議の役員及び常設審議委員の交代について協議するため、次の日程で地域協議会を開催し、管内の農業委員会会長の協議によりそれぞれの候補者を選定しました。

なお、知多及び海部の地域協議会は、7月に開催しています。

8月2日 東三河地域協議会（豊橋市）、新城設楽地域協議会（新城市）

8月3日 西三河地域協議会（西尾市）、豊田加茂地域協議会（豊田市）

8月4日 尾張地域協議会（名古屋市）

◎ 理事会を開催しました

8月7日に「愛知県三の丸庁舎」において、農業会議の平成29年度第3回理事会を開催しました。常設審議委員3名の補充選任については承認され、また、理事及び監事の補充選任を議題として、8月22日に臨時総会を開催することとされました。

◎ 農林水産省の大澤経営局長が来県しました

8月7日に農林水産省の大澤経営局長が大村愛知県知事を訪ね、農地中間管理事業の加速化について協力を要請しました。

それに先だって、同局長は、愛知県、農業振興基金、農業会議、土地改良事業団体連合会と意見交換を行いました。その中で、農業会議の関係では、農業委員及び農地利用最適化推進委員の活動を支援するための対応の一つとして、農地利用最適化交付金の活用及び上乗せ報酬条例の整備について要請がありました。

◎ 農林漁業就職フェアが開催されました

8月7日に中村区の「住友生命名古屋ビル」において、農林漁業就職フェア（主催＝愛知労働局・ハローワーク、愛知県、東海農政局、農業会議、県林業振興基金、県農業協同組合中央会、県漁業協同組合連合会）が開催され、48名が来場しました。

内容は、始めに農林漁業就職ガイダンスとして、農林漁業の職業、仕事に就くための支援策、職業訓練、自ら始めるための方策等について、関係機関の担当者がプロジェクトを使って説明しました。

続いて、就職面接会・個別相談会として、企業ブース（7社）と個別相談ブース（農業、林業、漁業、ハローワーク）の各分野の専門担当者らが来場者からの相談に応じたり、求職者との面接を行ったりしました。農業ブースの相談件数は、合計で13件ありました。

◎ 常設審議委員会（8月）の審議状況について

8月9日に「愛知県三の丸庁舎」において、農地法等に係る市町村農業委員会からの諮問に対する答申を審議する常設審議委員会を開催しました。

8月の諮問は、農地法第4条に基づく転用事案 2件、10,516㎡及び同法第5条に基づく転用事案 16件、213,878㎡について審議し、いずれも原案どおりで差し支えない旨承認されました。

また、地域協議会における協議結果に基づき、農業委員会会長である常設審議委員3名の辞任が同意されました。

◎ あいち米の初出荷式が行われました

8月10日に「JAあいち海部鍋田支店集出荷場」において、愛知県経済農業協同組合連合会及びあいち海部農業協同組合共催の平成29年産あいち米初出荷式が開催されました。

式典は、主催者の中野修経済連常務理事、平野和実あいち海部農協代表理事組合長の挨拶、来賓祝辞の後、ミス弥富の犬飼阿弥佳さんに一日検査員を委嘱し、出荷米（あきたこまち）の検査を行い、検査結果は1等でした。

次いで、ミス弥富、来賓及び主催者による出発式（テープカット）が行われ、平成29年産あいち米を載せたトラックを送り出しました。

式典終了後は、消費者交流会が開かれ、新米のおにぎりなどの試食が提供されました。今年の作柄については、品質は良好とのことでした。

◎ 農業者年金重点市町村・JA打合会を開催しました

農業者年金の愛知県の加入状況は、平成28年度の加入者累計が916人で新規加入者は合計26人とどまっています。

6月に農業者年金に関わる5者（一般社団法人愛知県農業会議、JAあいち中央会、一般社団法人全国農業会議所、JA全中、独立行政法人農業者年金基金）の協議により、29年度は6市を重点市町村、6JAを重点JAに指定しました。

これを受けて、重点市町村、重点JA、農業会議、JA中央会、農業者年金基金による打合会を8月16日に名古屋市中区のJAあいちビルで開催しました。

農業者年金基金から現状と今後の加入推進について、農業会議から29年度加入推進の取組方針等を説明し、加入推進名簿の精度向上と共有化、農業委員会総会やJA役員会での制度説明、戸別訪問、諸会議・研修会等でのPRチラシの配布などを依頼し、その後、意見交換を行いました。

重点市町村以外の農業委員会においても、総会等での制度説明、戸別訪問、PRチラシの配布等をお願いします。また、ご要望があれば農業会議職員が説明に伺います。

◎ 一般社団法人愛知県農業会議の総会を開催しました

8月22日に「愛知県三の丸庁舎」において、愛知県農業会議の平成29年度臨時総会を開催しました。

主催者として川上万一郎会長が挨拶した後、臨席いただいた来賓の高橋智保愛知県農林水産部長（知事挨拶代読）、中野治美愛知県議会議長、西田宏東海農政局経営・事業支援部長及び前田隆愛知県農協中央会会長からそれぞれご祝辞を頂戴しました。



【川上農業会議会長】



【中野県議会議長】



【前田県農協中央会会長】

第1号議案「理事の補充選任（農業団体の代表者等）」については、3名の理事の補充選任が承認され、第2号議案「理事及び監事の補充選任（農業委員会会長等）」については、5名の理事及び2名の監事の補充選任が承認されました。

総会の終了後に農業委員会会長等を対象として、農業会議の事務局長から農地利用最適化の推進に関する情報提供等を行いました。

◎ 理事会を開催しました

8月22日の臨時総会の途中に農業会議の平成29年度第4回理事会を開催しました。

欠員となっていた副会長に大須賀一誠理事（愛知県町村会会長、幸田町長）を選定したほか、常設審議委員2名の補充選任が承認されました。

また、大半の農業委員会が新体制に移行したことを受けて、県、農地中間管理機構等との連携の下に農地中間管理事業を柱とする農地利用最適化推進の取組を進めるための対応について常設審議委員会で検討することとされました。



【大須賀新副会長】

◎ 「農の雇用事業」指導者養成研修会等を開催しました

8月25日に中村区の「ABC貸会議室」において、社会保険労務士を講師として、農の雇用事業の経営者又は研修指導者を対象とする「指導者養成研修会」を開催しました。

研修事項として、「農の雇用事業」の仕組みと事業実施上の留意点を始め、助成金交付申請書の記載方法と留意点、現地確認調査及び労務管理上の注意点を説明しました。

また、8月30日には、同会場において、農の雇用事業の研修生を対象とする「事業説明・研修会」を開催しました。研修事項として、「農の雇用事業」の仕組みと事業実施上の留意点を始め、助成金交付申請書の記載方法と留意点、現地確認調査について説明した後、参加した研修生による情報交換として、各人から研修している内容や今後の目標などを発表し、意見交換を行いました。

◎ 愛知県水田農業検討会議が開催されました

8月25日に名古屋市中区の「JAあいちビル」において、愛知県の水田農業に関する基本的事項を検討する「愛知県水田農業検討会議」（主宰一県農林水産部長）が開催されました。

この会議において、「あいちの水田農業強化方針」について協議するとともに、国による米の生産数量目標の配分が廃止されることに伴い、愛知県農業再生協議会の依頼に基づき、平成30年産米の生産数量目標の目安の設定方針案について協議を行いました。

◎ 愛知県農業再生協議会の理事会及び通常総会が開催されました

8月30日に名古屋市中区の「JAあいちビル」において、平成29年度愛知県農業再生協議会（会長一県農林水産部長）の理事会及び通常総会が開催されました。

愛知県における平成30年産米の生産数量目標の目安の設定方針について協議を行い、8月25日に開催された愛知県水田農業検討会議の検討結果に基づき、132,056tとすることで承認されました。

◎ 第24回「農業委員会だより」全国コンクール参加募集について

全国農業会議所が第24回「農業委員会だより」全国コンクールへの参加募集を行っています。審査の対象となる広報誌は、平成29年1月から12月までの1年間に発行された「農業委員会だより」等です。平成29年11月30日（木）までに愛知県農業会議へ応募していただきますようお願いいたします。

◎ 今後の主な行事予定

- 9月4日 農業委員・農地利用最適化推進委員等研修会〈東三河会場〉（豊川市）
- 9月4日 都道府県農業会議事務局長会議（東京都）
- 9月5日 全国農業図書上期代表企画委員会議（東京都）
- 9月8日 常設審議委員会（三の丸庁舎）
- 9月12日 農業委員・農地利用最適化推進委員等研修会〈西三河会場〉（知立市）
- 9月14日 農業委員・農地利用最適化推進委員等研修会〈尾張会場〉（稲沢市）
- 10月2日 中日本ブロック農業委員会職員現地研修会（～3日）（名古屋クラウンホテル）
- 10月4日 常設審議委員会（三の丸庁舎）